

平成26年度 佐久市の財務諸表(普通会計)

《普通会計(4会計)》 ・一般会計 ・障害者支援施設臼田学園会計 ・住宅新築資金等貸付事業会計 ・奨学資金会計

貸借対照表

住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 公共資産 (道路、公園、学校、庁舎など) 1,939億83百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金など) 483億38百万円
2 投資等 (基金、貸付金、出資金など) 223億57百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金など) 64億91百万円
3 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金など) 151億41百万円 うち、歳計現金 ア 21億92百万円	負債合計 548億29百万円
	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
	純資産合計 イ 1,776億52百万円
資産合計 2,324億80百万円	負債・純資産合計 2,324億80百万円

資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

期首歳計現金残高	14億 6百万円
当期資金増減額	7億86百万円
1 経常的収支 (税込、国庫支出金、職員給与など)	97億87百万円
2 公共資産整備収支 (公共資産整備支出、国県補助金など)	△26億98百万円
3 投資・財務的収支 (投資及び出資など)	△63億 3百万円
期首歳計現金残高	ア 21億92百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	1,723億72百万円
当期変動額	52億79百万円
純経常行政コスト	ウ △311億99百万円
1 財源調達 (市税、地方交付税、国県補助金など)	368億94百万円
2 その他 (臨時損益など)	△4億16百万円
期末純資産残高	イ 1,776億52百万円

佐久市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口 99,650人に基づき算出)

- 資産 233万3千円(対前年度 +5万7千円)
- 負債 55万円(対前年度 △2千円)
- 行政サービスの提供 33万6千円(対前年度 △3万3千円)

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- これまでの世代の負担率 91.5%(平均値:50%~90%)
- 将来の世代の負担率 24.5%(平均値:15%~40%)

公共施設等の資産老朽化率 ●49.8% (平均値:35%~50%)

基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか

- 4億93百万円の赤字

行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常行政コスト】 A	334億34百万円
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入等)	56億 7百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	120億71百万円
3 移転支的コスト (社会保障給付費、補助金、繰出金等)	164億76百万円
4 その他のコスト (支払利息、不能欠損等)	△7億20百万円
【経常収益】 B	22億35百万円
1 使用料・手数料	9億39百万円
2 分担金・負担金・寄付金	12億96百万円
純経常行政コスト(A-B)	ウ 311億99百万円

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額	511億35 百万円
繰越金	△14億 6 百万円
地方債発行額	△69億64 百万円
財政調整基金等取崩額	0 百万円
支出総額	△489億42 百万円
地方債元利償還額	56億72 百万円
財政調整基金等積立額	13 百万円
基礎的財政収支	△4億93 百万円

【4表の相互関係】

- ア 「歳計現金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- イ 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ウ 「純経常行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。

平成26年度 佐久市の財務諸表(連結会計)

貸借対照表 住民サービスを提供するために保有している佐久市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)	【負債の部】(将来の世代が負担する金額)
1 公共資産 (道路、公園、学校、庁舎、病院など) 2,964億32百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金など) 857億99百万円
2 投資等 (基金、貸付金、出資金など) 283億58百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金など) 107億58百万円
3 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金など) 255億98百万円	負債合計 <u>965億56百万円</u>
うち、資金 ア 219億27百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)
4 繰延勘定 6百万円	純資産合計 イ <u>2,538億38百万円</u>
資産合計 3,503億95百万円	負債・純資産合計 3,503億95百万円

《連結会計(28会計)》

- ・普通会計(4会計)
- ・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・特別養護老人ホーム特別会計・後期高齢者医療特別会計
- ・介護老人保健施設特別会計・環境エネルギー事業特別会計・国保浅間総合病院事業特別会計・下水道事業特別会計
- ・佐久広域連合・佐久平環境衛生組合・佐久市・軽井沢町清掃施設組合・浅麓環境施設組合
- ・北佐久郡老人福祉施設組合・川西保健衛生施設組合・長野県後期高齢者医療広域連合・南佐久環境衛生組合
- ・小諸市外二市御牧ヶ原水道組合・佐久水道企業団・浅麓水道企業団・佐久市・北佐久郡環境施設組合
- ・佐久市土地開発公社・(一社)佐久市振興公社・佐久ケーブルテレビ(株)・(財)佐久市文化事業団

佐久市の連結財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口 99,650人に基づき算出)

- 資産 351万6千円(対前年度 △3万円)
- 負債 97万円(対前年度 ±0万円)
- 行政サービスの提供 82万9千円(対前年度 +7千円)

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- これまでの世代の負担率 85.6%(平均値:50%~90%)
- 将来の世代の負担率 28.0%(平均値:15%~40%)

資金収支計算書

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

期首歳計現金残高	266億57百万円
当期資金増減額	△47億33百万円
1 経常的収支 (税込、国庫支出金、職員給与など)	△208億32百万円
2 公共資産整備収支 (公共資産整備支出、国庫補助金など)	244億15百万円
3 投資・財務的収支 (投資及び出資など)	△84億47百万円
期首歳計現金残高	ア 219億27百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

期首純資産残高	2,645億4百万円
当期変動額	△106億66百万円
純経常行政コスト	ウ △494億45百万円
1 財源調達 (市税、地方交付税、国庫補助金など)	483億22百万円
2 その他 (臨時損益など)	△95億42百万円
期末純資産残高	イ 2,538億38百万円

行政コスト計算書

一年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常行政コスト】 A	826億1百万円
1 人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金繰入等)	144億44百万円
2 物にかかるコスト (物件費、維持補修費、減価償却費等)	224億88百万円
3 移転支的的なコスト (社会保障給付費、補助金、繰出金等)	437億30百万円
4 その他のコスト (支払利息、不能欠損等)	19億40百万円
【経常収益】 B	331億56百万円
使用料・手数料・利用者負担金など	
純経常行政コスト(A-B)	ウ 494億45百万円

【4表の相互関係】

- ア 「歳計現金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- イ 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ウ 「純経常行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※ 各項目で表示単位未満の数値を四捨五入していることから、表中で合計が一致しない部分があります。